つなごちゃんだより

2021年
１月号

〒177-0045 練馬区石神井台３丁目 31 番４号　小規模保育園手をつなご石神井台

TEL　03（6767）1204

新年明けましておめでとうございます。

お正月休み、ご家族でゆっくり過ごされたことと思います。
子ども達の成長していく姿をみていると、お互いにまねをしあい刺激しあい、良いことも悪いことも「あっこれ面白そうだな。」と思うとあっという間に皆で同じ事をしています。同じ玩具があっても友だちが遊んでいる物がよく見え、取ったり・取られたり、時には貸してあげたり・貸してもらったり。
色々な関わりの中から学び人間として生きていくための大事なポイントがあると思っています。
友だちと一緒にいるのが楽しい、保育園が大好き！
そんな思いになれる保育をしていきたいと思います。
本年もどうぞよろしくお願いします。

園長　後藤律子

１月の予定

13 日（水）身体計測
19 日（火）避難訓練
保育園は 1/4（月）からです

１月生まれのお友だち

２歳　１２日　池澤　司くん
　　29 日　池田　怜華ちゃん

今月のねらい

★0 歳児ひよこ組★
＊寒い季節を健康に過ごせるよう、一人ひとりの健康状態を把握してもらう
＊保育者を仲立ちとして、友だちとわらべうた遊びをしたり、お互いにまねたりし、一緒にいることを喜ぶ

★1 歳児りす組★
*衣類調節をしてもらいながら、戸外で体を動かして遊ぶ
*保育者や友だちに自分の思いを表現し、関わって遊ぶことを楽しむ
*見立て・つもり遊びをする

★2 歳児うさぎ組★
*身の回りのことを最後まで自分でする
*自分の気持ちを言葉で相手に伝える

保護者会 中止のお知らせ

１月２月に予定していた各クラスの保護者会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止することに致しました。
後日、お便りで詳しくお伝えいたします。

１２月の子どもの様子～絵本大好き編～

絵本大好きランキング

ひよこ組（０歳児クラス）

１　くだもの（福音館書店）

２　ぴよーん（ポプラ社）

３　だるまさんが（ブロンズ社）

りす組（１歳児クラス）

１　もこもこもこ（文研出版）

２　だるまさんが　シリーズ（ブロンズ新社）

３　ととけっこうよがあけた（こぐま社）

うさぎ組（２歳児クラス）

１　パンダ銭湯（絵本館）

２　おおきなかぶ（福音館書店）

３　グリーンマントのピーマンマン（岩崎書店）

自分で絵本を選び、保育者に差し出して「よんで」と全身で訴えてきます。大きいこどもたちは「ヨンデ」と言葉でもリクエストしています。

「モウイッカイ！」と仕草や言葉で伝えるときの目の輝きも素敵です。

本を手渡したら、後ろ向きで保育者の膝にちょこんと座ったり、お友だちが読んでもらっていると嬉しそうに隣に座ったり…

ひよこ・りす組は、繰り返し同じ本を読んで欲しがります。お友だちと笑いあったり、みんなで絵本に合わせて手を「パチン」としたりするのも楽しそうです。うさぎ組ではみんなで保育者の読み聞かせを聞くこともあります。簡単なストーリーのある絵本を読んでもらい、素敵な絵本の世界にグーっと入り込んでいるようです。

ちょっと絵本情報

★　絵本を読んでもらうのは、大好きな人を独占できる素敵な時間。心が満たされるひと時です。

★　０・１・２歳の頃は、次にどうなるかわかっていて、その期待通りになるのがうれしい時期。ページを「めくる」とうれしい瞬間が現れます。スマホにはない喜びです。

★　絵本は、読んでもらうことが基本。絵を見ながら聞いて、聞きながら絵を見て、絵本の世界を満喫します。

★　絵本を読んでもらって、はらはらどきどきしたり、恐かったり、しみじみしたり、アハハと笑ったり、なんで？と思ったり。読んでもらっているときに心がたくさん動いています。
知識や教訓やしつけは絵本の役割ではなさそうです。読み終わった後の解説や感想を聞き出すことも必要ないようです。

〈新年にあたり、理事長にこの保育園を作るときの思いを寄稿してもらいました〉

小規模保育園手をつなご石神井台　設立の思い　特定非営利活動法人手をつなご理事長　千葉勝惠

保育園の母体、特定非営利活動法人手をつなごは、子どもたちの幸せを目指し、「地域の子育てを応援します」「人と人とのつながりを作ります」「育ちあい育て合い支え合いを広げます」の三つの理念を掲げています。次世代を担う子どもたちの応援団です。元公立保育園勤務の私は５０歳で退職、シンガポールでの子どもの広場でのボランティア、カナダでの子育てひろば（ノーバディーズパーフェクトとの出会い）研修旅行等は私の人生後半を大きく変えました。地域の子育ての応援目標（私）は「子育てを楽しい！と思えるきっかけ作りを」でした。貫井子ども家庭支援センターでのひろばでのことです。保活中のお母さんたちから、「保育園を作って！」の多くの声が寄せられました。1967 年、美濃部亮吉氏が「ポストの数ほど保育所を！」等で都知事に当選、革新都政の下、保育園が沢山出来た頃のことを思い出していました。その後、保育事業は拡大し、幼保一元化、産休明け保育、病児保育、長時間保育等と「子どもにとって」と「多様な保育を望む」保護者の要望との間で、未だに悩むところはありますが・・・。子ども達が大好きな場所であり、ご両親にとっても預けて安心できる場所であることの両立を目指してはいます。保育園が沢山増えているのにまだ足りないと言われる保育園、第１は子どもの為の保育園でありたいのです。子どもたちが大好きな保育園とは何か、子どもの代弁者でもありたいと思います。小さな赤ちゃんにとって、大好きなお母さん、お父さんの懐は大切な場所です。そんな大切な懐のもう一つの場所になれたらと思っています。ご両親の輝ける力のお手伝いが出来ているでしょうか。『ちょっとだけ、お母さん・お父さんに代わってお世話してあげられたら』と、思ったのが、保育園設立の考えでした。子どもの幸せなくして子育て支援はあり得ないのです。（子育てのお手伝いは「子育ての幸せを分けて下さい」が本音。）